

情報処理科

クラウドコンピューティング

対象	2年次	開講期	後期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	村上			実務経験	有	職種	ネットワークエンジニア				

授業概要

実際の業務でも使用されるクラウドサービスなど、最先端のITサービスを体験します。

到達目標

ネットワーク経由でのサービスを分類でき、それらを利活用する上での留意事項等（特にサービスでの共通問題となるセキュリティ関連）について説明ができる。また、先端技術の知識を幅広く得ることによって新しいものへの好奇心が高まり、自身で新しいクラウドサービスを積極的に調べて利活用することができる。また、仮想化、ビッグデータ、人工知能などのクラウドの先にある技術についても、理解していく。

授業方法

先端のICT技術とそれらの基礎知識、ネットワーク経由でのサービスを利用する上で必要となる留意事項（特に（セキュリティ）について座学で解説を行っていく。また、クラウドの先で利用されている仮想化、ビッグデータ、人工知能などといった技術についても解説を行うことで、そのサービスの特性などについても理解を深めさせる。毎回、課題演習を行って知識の定着を図っていくため、確実な提出が必要である。

成績評価方法

試験と課題、理解度確認の小テストを総合的に評価する。授業参加度、授業態度も評価に含まれる。

履修上の注意

最新のサービスを利活用する態度を重要視する。また、社会への移行を前提とした受講マナーで参加することを期待するため、講義中の私語や受講態度などには厳しく対応する。（詳しくは初回の講義で説明する。）理由のない遅刻や欠席は認めない。パソコン、教科書を忘れずに持参すること。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受講することができない。

教科書教材

Get CompTIA Cloud+クラウド時代の必修科目

回数	授業計画
第1回	先端情報技術の概要
第2回	コンピュータネットワーク(1)
第3回	コンピュータネットワーク(2)

第 4 回	コンピュータネットワーク(3)
第 5 回	クラウドサービス(1)
第 6 回	クラウドサービス(2)
第 7 回	システム仮想化技術(1)
第 8 回	システム仮想化技術(2)
第 9 回	システム仮想化技術(3)
第 10 回	インフラストラクチャ
第 11 回	リソースマネジメント
第 12 回	クラウド導入事例
第 13 回	クラウドセキュリティ(1)
第 14 回	クラウドセキュリティ(2)
第 15 回	まとめ